



企業概要

安政三年(1856年)創業。「きびだんご」や「むらすずめ」をはじめとした岡山土産に加え、四季折々の和菓子を製造・販売しております。「美味しいをもっと楽しく」を合い言葉に、「食の楽しさ」を感じられるまちづくりを目指しています。

問い合わせ先

担当部署 / 社長室

岡山市中区藤原60番地
TEL 086-271-0001
FAX 086-272-4547
E-mail info@koeido.co.jp
https://koeido.co.jp/

食を通じて地域社会の創造・発展に貢献



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

2026年の創業170周年に向けて、従業員一人ひとりが情報センスを高め「食分野における職人集団に転換していく」とのビジョンを掲げました。これは自立的な思考を持ち行動することで個人だけでなくチームとしても変わっていき、社会にとってより良い取組に繋がっていくと考えております。こういった持続可能な成長や考え方をSDGsと絡め、地域の創造・発展に貢献していきたいと考えたからです。

取組内容

- ①創業時の手づくりの味にこだわった「むかし吉備団子」の原材料であるもち米は、岡山市高松地区の契約農家の特別栽培米を使用。安心安全な素材の原点である「かけがえのない田んぼ」を守る為、田植え・稲刈りの時期には社員が足を運びます。
- ②年末に地域の方を招いた「餅つき」を実施。餅つき体験をしていただくなど日本の「食文化の継承の場」となっています。また工場見学も実施しており小学校や幼稚園、企業や観光協会など約100団体、2,000人を受け入れています。
- ③産休取得・育休制度最大3年など、社員数の7割を占める女性が「輝いて働ける」環境を整備。
- ④災害時には被災地への寄付、きびだんごを社員直筆のお手紙と共に寄贈。新型コロナウイルス感染拡大の際には地域の学童クラブや保育園、医療従事者へ菓子の寄付を行いました。その他にも健康と安全、天然の美味しさをお届けする為、北海道産のもち米や小豆をはじめ、黍、黒糖、海塩などより確かな国産原材料にこだわっています。

取組目標・目的

当社の社是は「我々は廣榮堂の成員として文化的・伝統的遺産である『きびだんご』を守るとともにそれを基礎に新しい食品産業を創造する。誠実にして堅実なる仕事を通じて、お互いの人格ならびに生活の向上を目指すとともに地域社会の信頼を確立する。」です。以前より取組み続けてきた自社の事例をSDGsと結びつけ、社員一人ひとりの意識を高め、社会の変化に対応した付加価値を創造して参ります。また社会性を持ち、学び、創造性を育みながら地域と共に成長していくことを目標と考えています。

担当者からのコメント

今後持続可能な成長を継続する為にはSDGsの理念に共感し、社会の課題解決に貢献していかなければなりません。それこそが社員一人ひとりの成長にも繋がり、地元根付いた接客・サービスの向上になると考えます。お客様をはじめ社会にとって期待感を持っていただける存在になれるよう、安心安全な菓子づくりに努めて参ります。



社長室 室長 小西 祐貴



企業概要

1988年に設立。地域の住民を対象とした温浴施設(お風呂、サウナ、岩盤浴)を運営。2022年2月、機能改善ジム、予防医療システム、鍼灸整体、ランドリーを併設。お客様の心と体の健康をサポートする複合型生活サポート施設をリニューアルオープン。

問い合わせ先

岡山市北区内山下一丁目10番16号
TEL 086-221-0010
FAX 086-226-0834
E-mail m-teraoka@wh-tera.com

環境に配慮した洗剤を活用したランドリー設備及び洗剤の販売



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

かつて、海洋汚染の原因といえば「産業排水」だったが、近年はプラスチックストローに代表されるように、消費者の活動そのものが環境に影響しているという意識が高まり、なかでも、洗濯やそうじ、台所、トイレなどの生活排水が注目されています。こうした背景から環境配慮型の洗たく洗剤は増加しつつあるものの、洗い、すすぎの回数を減らすことができる洗剤はひとにぎりです。

取組内容

100%植物由来で高い分解力をもった洗剤「イオヌレンーデ」は、他の洗剤に使われることの多い添加物は一切使用されていません。そして、独自のナノテクノロジー技術により、汚れそのものだけでなく、微粒子化された洗浄成分までも分解します。この効果はOECDが定める国際的な試験法で、自然環境中の微生物により、有機物を水と二酸化炭素に分解しやすい易分解性と認められています。高い分解力のおかげで使用料を最小限に抑えることができます。

取組目標・目的

洗剤「イオヌレンーデ」は、洗濯だけでなく、希釈していただくことでお風呂、台所などのお掃除にも活用できます。洗濯はすすぎ要らずで節水、節電にも貢献できます。洗濯の際、生地に余分な負荷がかからないため、マイクロプラスチックの問題も起こりにくくなります。自衛隊には導入実績があり、介護や災害現場などでの活用も期待されています。多くの方にご利用いただき、サステイナブルな社会を実現してゆくことが目標です。

担当者からのコメント

環境負荷減にとどまらず、アトピー、アレルギーの人でも安心して使用できる成分として、日本皮膚科学会認定専門医により、安全性が証明されている洗剤をより多くの方に使っていただきたいです。



寺岡 真貴子



企業概要

土木・建築の総合建設業、不動産業、宅地建物取引業を行っています。また、タイ・ラオスに現地法人を設立し、インフラ整備、建設等のビジネスを展開中です。

問い合わせ先

担当部署 / 管理部

岡山市北区津高140番地3
TEL 086-251-3373
FAX 086-251-3371
E-mail info@sanko-cothax.co.jp(大河内 崇寛)
https://sanko-cothax.jp/

岡山県と世界を結ぶ！日本の技術をASEANへ展開



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

ラオスは、ASEANの中で唯一の内陸国であり、複数の国の国境に面しています。また、ラオス国民の年齢の中央値は23歳であり、就業意欲の高い若者が多いという特徴もあります。これらの地理的・人的利点を活かし、ASEAN地域の物流網の中心地として、今後、爆発的な経済発展が見込まれています。しかしながら、ラオスでは、毎年雨期になると洪水・浸水や強風による構造物の倒壊が頻発しています。その要因は不十分なインフラ整備、人材・技術力、資金の不足です。当社の使命は、「誰もが安心・安全で豊かに暮らせる街づくり」です。日本の技術力でラオスのインフラ整備を促進することで、当社の使命を実現できると考えています。さらに、就業・学習意欲が高くとも働く場所が少ないというラオスの課題と、少子高齢化が進み技術移転が進まない日本の課題を人材育成を通じて解決しようと新しい事業にも取り組んでいます。

取組内容

これまでに10名以上のラオスの若者を日本に呼び、10か月間、語学・技術研修を行いました。その後当社のラオス現地法人で雇用し、研修で身につけた技術を活かして、母国ラオスで生コンクリートやプレキャストコンクリートの製造・販売で活躍しています。その中でもプレキャストコンクリートは、施工後の維持・管理費用の削減に効果的であるため、インフラ整備に役立てられるとラオス政府からも期待されています。この人材育成の経験を活かし、幅広い領域でラオスの若者を高度人材・技能実習生として育てる取り組みを進めています。この取り組みにより、様々な業界において、日本企業の高い技術力と運営能力をスムーズに移転することができます。さらにラオスへの進出を検討している日本企業を現地でサポートできる人材を育成することで、日本・ラオス双方の経済発展に繋がると考えています。

取組目標・目的

弊社は、国土交通省関連団体の「国際貢献に資する事業」、第一号に選ばれラオスのインフラ整備に取り組んでおります。

- ・インフラ整備を通じ、日本・ラオス双方の経済が成長できる関係を築きます。
- ・ラオスの若者に日本で語学・技術研修を行い、現地で活躍できる人材を育成します。
- ・現地での雇用創出により、継続的な経済発展につなげます。
- ・ラオスと日本の商習慣を身に付けた人材の育成により、日本企業の海外進出サポートを目指します。

担当者からのコメント

当社では、技能実習本来の意図である開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」を果たすため、ラオスの大学および、岡山の大学とパートナーシップ協定を締結し、人材育成を果たしてまいりたいと考えています。日本とラオスの課題を解決し、両国の架け橋となれるよう活動していきます。



成長戦略本部 海外事業グループ 三敏 理恵



企業概要

1934年3月設立の木材防腐加工業。当時本社は島根にあって現在は岡山。当初は木製電柱や枕木への防腐加工から始まり、現在は住宅用資材への防腐、公園遊具の製作販売、プレカット加工を行っています。

問い合わせ先

岡山市南区海岸通二丁目6番3号
TEL 086-262-0137
FAX 086-262-0130
E-mail info@sanmoku.co.jp
https://www.sanmoku.co.jp/

森林資源の長期利用と、それによる森林資源循環サイクルへの貢献



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

日本の木材は伐採期を迎えており、林野庁をトップとして利用が進んでいるが、山林の管理や植樹などは後退しています。木材はサイクルが可能な資源ではあるが、そのサイクルは数十年を要するものです。弊社はその木材を防腐加工する事で木材の寿命を延長し、さらに高品質な加工により長期間の利用を促進し森林資源サイクルへの貢献と、木材の国内利用や炭素固定化の促進をしています。

取組内容

住宅用土台や資材、公園遊具や環境資材への対シロアリ・耐腐朽菌薬剤を加圧注入もしくは浸漬注入する事で、本来3~5年程度の木材寿命を大幅に伸ばし木材利用寿命を延長させます。そしてもう一つの主業務である木材を高精度、最新技術のプレカット加工は、誤差の無い正確な加工により気密性の高い住宅を作る事が出来、住宅寿命を延ばします。

取組目標・目的

政府が掲げるCO₂削減目標、炭素吸収量3800万t-CO₂、木材利用での吸収量680万t-CO₂へ、防腐木材の製造利用・木材プレカットでの高密度高耐久住宅部材の供給に貢献し、[伐って・使って・植えて・育てる]森林資源循環を木材の長期利用の形で貢献していきます。

担当者からのコメント

一時は薬品として忌避された防腐木材ですが、環境薬剤への切り替えや国産材の見直しなどで、防腐木材のSDGsへの貢献は時代に合った大きなものと感じます。さらにプレカットによる高精度な木材加工は循環資源である木材の長期利用に大いに貢献します。



代表取締役専務 田中 陽裕

株式会社 山陽新聞社



企業概要

日刊新聞紙「山陽新聞」、電子版「山陽新聞デジタル」をはじめとする各種媒体を通じてエリアのニュースを発信。確かな情報と時代を切り開く論考で暮らしを守る、信頼、共感のメディアとして、地域の振興、発展や課題解決に貢献します。各種出版、文化・スポーツ事業の主催・後援・協賛を通じて、地域文化の向上にも寄与します。

問い合わせ先

担当部署 / 吉備の環プロジェクト推進本部

岡山市北区柳町二丁目1番1号
TEL 086-803-8091
FAX 086-803-8108
E-mail kibinowa@sanyonews.jp
https://c.sanyonews.jp/kibinowa



吉備の環プロジェクト



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

明治維新の廃藩置県で「岡山県」が誕生し、2021年で150年となるのを機に始動しました。地球規模の気候変動、極端な格差・分断をも生み出すグローバル化、デジタル化、東京一極集中など、新型コロナウイルス禍で一層顕在化した未曾有の環境変化の中でよりよい郷土をどう築いていくべきか。埋もれた社会問題や魅力も発掘しながら課題解決に取り組み、地域のイノベーションを先導します。

取組内容

本社、グループ会社社員が合同チームをつくって県内各地を訪問し、通常の取材や営業活動とは異なる視点で現地を体感し、住民の声を聞き取ります。聞き取った声は本社で集約して課題設定した後、地域との協働により解決に結び付けます。報道の分野では、古代吉備国以来の豊かな文化や自然に恵まれた郷土を見直し、人々の営み、暮らしを見つめる「吉備の環 地域をみつめ 未来をひらく」を長期連載します。

取組目標・目的

デジタル化、コロナ禍で大きな変革を迫られている地域を訪ね、実際に現場で起きている出来事や、肌で感じた情報にもとづいて課題設定することを本プロジェクトの起点とします。本社のリソース、強みを生かしつつ、設定した課題の解決策を地域とともに検討、実行することで、岡山県全体に変革のうねりを巻き起こし、地域社会の持続可能な未来をひらいていくことを目標としています。

担当者からのコメント

山陽新聞は1879年(明治12年)の創刊以来、「地域とともに」を企業理念としてまいりました。山陽新聞社にとって地域の存続・発展は、SDGsのキーワードの一つでもある「自分事」にほかなりません。強みである情報収集力を最大限発揮し、地域課題解決に向けグループの総力を挙げて取り組んでまいります。皆様からの情報提供もお待ちしております。



吉備の環プロジェクト推進本部 事務局長 板谷 武

株式会社 重藤組



企業概要

創業60周年の総合建設会社として、地域の社会基盤整備に取り組み、商業施設から公共施設、エネルギー備蓄基地まで幅広く手がけ、SDGsに掲げる「誰一人取り残さない」社会実現に尽力しています。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市南区福成三丁目6番22号
TEL 086-263-8811
FAX 086-263-7776
E-mail komatsubara@shigeto.jp
https://shigeto.co.jp/

多様な人材が活躍できる環境を整え、「住み続けられるまちづくり」を目指します！



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

昨今の少子高齢化による労働力人口の減少に対応すべく、女性、外国人、高齢者、障がい者など多様な価値観や経験を持った人材を受け入れて「ダイバーシティ・マネジメント」に取り組んでいます。また、「知ることは、障がいを無くす。」をスローガンに掲げている就労継続支援A型事業所「株式会社ありがとうファーム」さんの活動に大きく共感したことが障がい者支援活動を始めるきっかけとなりました。

取組内容

男性が主体だった建設業界に多様な価値観をもった人材(女性、外国人、高齢者、障がい者)を受け入れることで組織を活性化させ、社会をより良い方向に変革する活動に取り組んでいます。2020年9月から工事現場の仮囲いや本社のエントランスホール、応接室に、障がい者アーティストのレンタル作品を飾り、その契約料の70%を作家の収入として毎月還元することで、持続的な支援を細く長くおこなっています。

取組目標・目的

今後は障がい者アーティスト作品のレンタルのみならず、建設現場から出るリサイクル廃材をアート素材として提供し、障がい者が運営する「ハブラボ」の支援をおこなうことで、障がい者のアート作品制作や社会参加への意欲を高めていきたいです。そして会社全体にSDGsへの取り組みをより深く浸透させ、多様な人材が活躍できる社会の実現とすべての人が「住み続けられるまちづくり」を目指したいです。

担当者からのコメント

支援活動を通じて障がい者の方々の多彩な才能に触れることで、今は私が良いエネルギーをたくさんいただいています。これらの社会貢献活動を継続していくことで多様な人たちがそれぞれの才能を活かすことのできる社会を作りたいと思います。



総務部 小松原 庸宏

株式会社 システムタイズ



企業概要

1997年に設立。「絆」を社是とし、人と人との繋がりを第一に考えながらシステム開発をはじめとしたIT活用支援やホームページ制作等デザイン事業、データ入力代行、進学塾経営などを幅広く行っています。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市北区下中野318番地110
TEL 086-242-0011
FAX 086-242-0767
E-mail info@system-ties.co.jp
http://www.system-ties.co.jp/

心と身体 の健康づくり



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークの急速な推進やフレックスタイム制の導入を始めとする、多様な働き方が増えてきていることから、「ワーク・ライフ・バランス」や「働き方改革」などに再び注目が集まっています。「ワーク・ライフ・バランス」を実現させるためには、生活と仕事の調和を保ち、誰もが働きやすいと思える環境を整えることが必要不可欠です。働きやすい環境を整えることは、従業員のモチベーションやパフォーマンスの向上、私生活の充実にも影響を与えます。こうして心身ともに良好な状態となることは、より良いサービスの提供にも繋がると考えております。

2020年に、「健康経営優良法人認定制度」を知ったことをきっかけに、今まで積極的に取り組むことができていなかった、働きやすい環境を整える取り組みを行うこととしました。その取り組みの一つとして、従業員の心と身体 の健康づくりを行っています。

取組内容

従業員の心と体の健康づくりとして、様々な制度を取り入れています。

年に1度のストレスチェックや半年に1度の面談を行うことで、メンタルヘルスの不調を未然に防ぐことができる体制を整えています。他にも、感染症を予防するために予防接種実施場所の提供や費用の負担を行っています。2021年度からは、新たに受動喫煙対策として屋外禁煙所の縮小や女性の健康を保持できるように婦人科検診の費用補助を開始しました。また今回の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、テレワーク制度の導入や、時差出勤の推奨なども行っています。このように様々な取り組みを行った結果、「健康経営優良法人2021」に認定されました。

取組目標・目的

心と身体 の健康づくりを行うことで従業員一人ひとりの健康に対する興味・関心を高め、より健康を意識した生活を送ることを目的としています。

またこのような取り組みを積極的にを行い、体制を整えていくことで、従業員に働きやすいと思ってもらえる環境を整備していきます。その結果、従業員のモチベーションやパフォーマンスが向上し、より良いサービスの提供に繋がれることを最終的な目標としています。

担当者からのコメント

従業員の心と身体 の健康づくりに積極的に取り組んだことで、従業員の健康状態の現状と課題を把握することが出来ました。今後、実現させたい取り組みは多くありますが、まずは発見した課題点の一つずつ改善するところから始めていきたいと思っております。



総務部 丸尾 奈々子

株式会社 STAY GOLD 岡山支社



企業概要

ファイナンシャルプランナーとしてお客様のライフプランと一緒に考え、お金についての不安をなくし、将来安心して生活してもらえる資産設計を提案します。

問い合わせ先

担当部署 / 本社

本社/岡山県真庭市中365番地
岡山支社/岡山市北区本町5番1号 重広ビル3F
TEL 090-1188-8111
FAX 0867-44-1166
E-mail m.i.a441166@gmail.com
https://staygold-company.com/

ファイナンシャルプランナー



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

元々金融機関に勤めており、お金について考える時間が多くありました。一生懸命仕事をして裕福になる人、なぜかお金が無くなっていく人、様々な方がいます。SDGsの4番、「質の高い教育をみんなに」についてですが、ファイナンシャルプランナーとして考えた場合、圧倒的に金融教育が足りていません。もっと金融について勉強する機会があれば多くの方がお金に悩まない生活ができます。誰でもお金について学べる機会を作る。そして、金融知識向上の一助となればと思いファイナンシャルプランナーとして活動しております。

取組内容

お金についての教育はまだ認知されておられません。そのため、弊社ではホームページや地域情報誌、SNSを使用し、少しでも多くの方へ金融教育を受けてほしく毎月お金についての勉強会を開催しております。

また、セミナーや講演活動もしており企業や様々な方へお金についての考え方や情報をお伝えしております。

そして、増やすお金の金融商品や守る保険も取り扱いワンストップで安心できる、地域に必要なとされる会社を目指し続けています。

取組目標・目的

何歳になってもお金の悩みはつきません。人生の3大支出(住宅・学費・老後)に悩まなくてもよい準備と一緒に考えます。特に豊かな老後を過ごすため、人生100年時代突入、2000万円問題に悩まないように65歳時点で安心できる個人金融資産を明確に設定しプランニングいたします。

担当者からのコメント

映画やドラマの主人公は1人、しかし、人生と言う舞台では皆様1人1人が主人公です。皆様が光り輝き続ける人生を過ごしてほしい！その想いから会社名をSTAYGOLDにしております。弊社では皆様が光り輝きますよう全力でサポートいたします。



本社 代表取締役 築澤 芳郎

第一生命保険株式会社



企業概要

1902年に日本で最初の相互主義による生命保険会社として、岡山県出身の矢野恒太により設立されました。創立以来の経営理念である「ご契約者第一主義」のもと、一生涯の安心のために最適な保険商品を提供し、お客さまの「一生涯のパートナー」となることを目指しています。

問い合わせ先

担当部署 / 岡山支社 岡山西営業オフィス

本社 / 東京都千代田区有楽町1丁目13番1号
岡山支社 岡山西営業オフィス /
岡山市北区伊福町3丁目4番2号 伊福町本ビル1F
TEL 050-3782-6240 / FAX 086-253-5121
E-mail Masata652@daiichilife.com
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

岡山市コミュニティサイクル「ももちやり」の清掃を行っています！



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

岡山の人々のQOL向上に貢献したいという思いから、人々が安心して暮らせる美しい岡山の街の持続性確保を目指して活動しています。第一生命グループの歴史は生命保険事業などを通じた社会課題解決への貢献の歴史です。社会から信頼され必要とされる会社であり続けるために、創業以来、各時代の社会課題解決に向き合い、人々の生活に安心をお届けしてきました。私たち岡山西営業オフィスの社員一同も、会社の理念に基づき、街の美化をきっかけに岡山の街を活性化させたいと考え、コミュニティサイクル「ももちやり」の清掃活動に取り組んでいます。

取組内容

2020年春より、岡山駅のホテルグランヴィア前のももちやりサイクルポートにて、自転車の整理と消毒作業といった清掃活動を毎週水曜日に実施しています。当初は街の美化を主な目的として始めた活動でしたが、自転車を消毒することにより、コロナ禍でももちやり利用者の安全を確保することにもつながっています。岡山西営業オフィスには約33名の社員が在籍しておりますが、全員が自ら進んで活動に参加しています。数名ずつの交代制により活動を実施することにより、社員同士のコミュニケーションが活性化し、社員QOL向上という副次的な効果も得られました。

取組目標・目的

岡山県出身の第一生命の創業者矢野恒太は「最大たるより最良たれ」「世間の人が喜ぶか、なくてもいいと思うかを考えよ」という言葉を残しています。この言葉の意味は、「会社の存在意義は事業規模の拡大ではなく、人々の幸福や社会の発展への貢献にあり、そのために真に必要なことをせよ」ということです。岡山西営業オフィスでは、この思いを大切に、岡山市民の皆様が安心して暮らせる住み良い街づくりを目指して、今後も清掃活動を継続して行っています。コロナ禍でも安心してコミュニティサイクルを利用いただくことで、街の活性化にもつながればと考えております。また、オフィスのSDGs取組や地域の皆さまのQOL向上取組の資金として毎月一定の金額を「SDGsオフィス積立金」として積立しており、2021年度は積立金を使用して、ももちやりの寄贈を行いました。

担当者からのコメント

当社では全国の事業所で社会貢献活動に取り組んでいます。岡山西営業オフィスでは、担当地区である岡山駅周辺の美化を目指して活動しています。清掃活動をしていると「いつもありがとう」と声をかけてくださる方もいて、元気をもらっています。今後も地域の皆様とコミュニケーションを取りながら、活動を継続していきます。



岡山支社 岡山西営業オフィス
オフィス長 政田 善彦

大紀産業株式会社



企業概要

乾燥野菜やドライフルーツが簡単に作れる、食品乾燥機の国内シェア30%強を誇るトップメーカーで、自社で設計から製造・出荷に至るまで一貫生産を実施しています。2008年に開発した国内初の業務用電気乾燥機は『安全かつ効率的な電気式』『家庭用電源で使用可能』という2つの画期的な特長が評価され大ヒットし、変形品や傷モノの規格外品の農産物が廃棄されず、乾物として生まれ変わり、全国の道の駅や農産物直売所で乾物商品が並びさかかけとなりました。近年は電気乾燥機の大規模化に取り組んでおり、特に1回の処理量が100kgを超える大型電気乾燥機は国内で競合がない、オンリーワン商品です。

問い合わせ先

担当部署 / 営業部

岡山市北区清心町3番3号
TEL 086-252-1178
FAX 086-252-6690
E-mail info@taikisangyo.co.jp
<https://www.taikisangyo.co.jp/>

国際協力機構(JICA)と連携した、アフリカスーダンでのSDGs活動



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

元々、アフリカ スーダン国内に1日50t処理可能な国営の大規模なタマネギ乾燥工場があり、ここで生産された乾燥タマネギは国内だけでなく海外にも輸出されていました。2008年に国家が財政難となり、工場の稼働が停止しました。これに伴い、乾燥用のタマネギが生食用として市場流通に回ることになり、スーダン国内の生タマネギが大暴落し、最盛期には従来の1/4以下の価格で販売せざるを得なくなり、年1回しか収穫出来ない、タマネギ生産農家が生活に困窮する事態となりました。スーダン政府から日本の国際協力機構を通じて、スーダンはナイル川を利用した水力発電が主力で電気が安価な為、電気を熱源とした日本の大型電気乾燥機を導入したいとの希望があり、日本国内で対応出来るのは当社しかないオンリーワンの乾燥機であった為、2015年からスーダンで活動を開始しました。

取組内容

発展途上国では、収穫した作物を露店や路上で販売し、売れ残った商品を廃棄しており、実際には農産物の約半分近くをロスしているのが現状です。当社の電気乾燥機を導入することで、常温で長期間保存可能な乾物が作れ、発展途上国の農産物生産者の所得向上と食品ロスの削減に大きく期待できます。アフリカ スーダンでは電気乾燥機を導入し、乾燥タマネギを生産しています。乾燥タマネギを作ることで生タマネギと違い、価格の乱高下なく、安定した価格で販売でき、かつ常温で長期間保管できることから、SDGsの『1.貧困をなくそう』『2.飢餓をゼロに』などの項目に貢献しています。また、乾燥タマネギを作る加工で、洗浄→スライス→乾燥→包装と機械化を導入し、軽作業の為、社会進出しにくいイスラム農村部で女性が働ける職場(女性の新規雇用・所得拡大)を創出しています。これはSDGsの『5.ジェンダー平等を実現しよう』の項目にも貢献しています。現地では女性生産組合を結成し、加工から販売まで一貫して女性だけで行っています。

取組目標・目的

スーダン国内での農業は就労人口の約80%を占める基幹産業です。国家の農業戦略として、「農業を自給自足なレベルから市場に呼応する近代的なセクターに転換させ、貧困削減・成長・外貨収入獲得、自然資源の持続可能な管理に貢献させること」を目標としています。これまでのスーダン国内にあった、1日50t処理の大規模タマネギ工場を作ることは、億単位の大規模な設備投資が必要となることから、国家の関与も必須となります。弊社の取り組みとしては現地の生産者組合が投資可能な1日1t処理の中規模タマネギ工場をタマネギ産地の集落毎に導入し、かつ組合を結成することで、国家に左右されない、持続可能なタマネギ乾燥施設を作ることを目標としています。これをスーダン全域に100~200か所の建設を目指しています。

担当者からのコメント

・社員のモチベーションの向上
乾燥機を作ることで国際社会に貢献しているとの自覚を持つようになりました。



取締役社長 安原 宗一郎

株式会社 中国銀行



企業概要

「自主健全経営を貫き、ゆるぎない信頼と卓越した総合金融サービスで、地域社会と共に発展する。」を経営理念とし、地域のお客さまに『選ばれ』『信頼される』銀行を目指して、地元岡山県を中心に全国151か所に店舗をもつ地方銀行です。

問い合わせ先 担当部署/地方創生SDGs推進部

岡山市北区丸の内一丁目15番20号
 TEL 086-234-6351
 FAX 086-234-6582
 E-mail itano_natsumi@chugin.co.jp
<https://www.chugin.co.jp/>

海ごみクリーンアップ「プロジェクトマナティ」



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

【解決したい地域課題・社会課題】
 海洋プラスチック問題などの海ごみ問題を解決。
【活動のきっかけ】
 当行の営業基盤にある瀬戸内海は魅力ある資源の一つであり、豊かな自然環境を守る必要があると考え、地域資源を守り、海ごみなどの環境問題を解決する取組みを実施しました。

取組内容

海ごみクリーンアップ「プロジェクトマナティ」を岡山県に誘致し、地域事業者と親子向けのごみ拾い企画を共同で実施しました。プロジェクトマナティは、地域交流、遊び、環境保全をテーマとして、地域海ごみの課題解決を目指す海ごみクリーンアップのアクティビティです。地域を訪れた観光者等が500円のワンコインで手軽に地元住民と触れ合いながらクリーンアップ活動に参加ができるというビーチクリーンの仕組みです。

取組目標・目的

魅力ある地域資源を守り、海ごみなどの環境問題に対して地域が協力した取組みとして広がっていくことを目指しています。また、取組みを通して地元事業者のSDGsの取組支援や県外のベンチャー企業と地元企業とのマッチングによる地元事業者の支援、地域の交流人口の増加と消費拡大にもつながることを目的としています。中国銀行では、今後も瀬戸内海の魅力ある環境資源を守り、海ごみ問題の解決に向けた取組協力をおこなうため、本取組みを各地へ広げてまいります。



地方創生SDGs推進部
板野 奈都美

担当者からのコメント

この取組みを通して、海ごみ拾いが誰もが手軽に参加できる観光アクティビティとして広がり、海ごみの問題解決につながるだけでなく、地元事業者のSDGsの取組支援や地域の交流人口の増加など地域活性化につながるきっかけになりました。海ごみ問題に取組みたい、地域交流を図りたい、観光ツアーに導入したいなど、本プロジェクトにご関心をお持ちの方は当行までお問合せください。

中国電力株式会社 岡山支社



企業概要

中国地域を基盤とする電力会社。多様化するお客さまのニーズにお応えするため、グループ大で、総合エネルギー供給事業、情報通信事業、ビジネス・生活支援事業などを展開。また、教育支援や環境保全など、さまざまな分野で地域の発展に貢献。

問い合わせ先 担当部署 / 岡山支社広報グループ

本社/広島県広島市中区小町4番33号
 岡山支社/岡山市北区内山下一丁目11番1号
 TEL 086-222-8925
 FAX 086-227-4805
 E-mail T4000310@pnet.energia.co.jp
<https://www.energia.co.jp/>

次世代層向けエネルギー環境教育支援活動



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

2003年、国のエネルギー基本計画に「子どもの頃からエネルギーについて関心を持ち、正しい理解を深めることが重要であることから、エネルギーに関する教育の充実を図る」と明記されるとともに、学校教育において「総合的な学習の時間」が導入されたことを機に、社員が小・中学校に出向いて行う『出前授業』を開始しました。

取組内容

学校に出向き、教育関係者と連携してエネルギーに関する授業を行う「出前授業」や、当社事業所や公民館等の地域施設で、工作や実験を交えながら電気やエネルギーに関する授業を行う「電気教室」。さらに、親子が一緒になって楽しみながらエネルギーについて学べる親子イベントなども行っています。

取組目標・目的

次世代を担う子どもたちが、エネルギーや環境の学習に興味を持って取り組み、正しい知識を身に付けることにより、エネルギーや環境のことを自らの問題として捉え、主体的に考え、行動する能力を身につけてもらいたいと考えています。



岡山支社広報グループ
高田 あゆみ



藤間 美奈

担当者からのコメント

当社は昨年創立70周年を迎えました。この地で事業をさせていただき、育てていただいた皆さまに、これまでと変わらず電気を安定してお届けすることをお約束するとともに、電気事業以外の様々な分野にも挑戦していくことで、恩返しをしていきたいと考えています。これからも中国地域に根ざした企業として、持続可能な社会の実現と地域の発展に全力を尽くして取り組んでいきます。「出前授業」や「電気教室」をご希望される場合は、岡山支社広報グループまでご連絡ください。

有限会社 ティーエムジェイ



12 つくる責任
つかう責任



企業概要

通信工事業

問い合わせ先

岡山市北区東古松507番地4
TEL 086-803-2277
FAX 086-803-2278
E-mail jun-yanabe@tmj-group.co.jp
https://www.tmj-group.co.jp

つくる責任 つかう責任



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

もので溢れている、弊社の廃棄物置き場にもたくさんの通信機器が引き上げられてきています。

取組内容

販売する商材にリサイクル商品をラインナップ。中古品の動作確認と清掃を行い商品化をしています。

取組目標・目的

廃棄していた機器の中にはまだ使えるものが含まれています。部品取りでパーツごとに整理ストックすることで故障の緊急対応時に備えます。ビジネスホン全メーカーの部品調達可能を目指します。



代表取締役 矢鍋 淳一

担当者からのコメント

継続できることが大切だと考えています。着実な前進を目指しています。通信工事業を通じて得たノウハウとSDGsの考え方をもとに新規事業を計画しています。常識からはみ出たティーエムジェイにご期待下さい。

テレビせとうち 株式会社



企業概要

岡山県・香川県を放送エリアとする中四国唯一のテレビ東京系列の放送局であり、山陽新聞グループの一員です。

問い合わせ先

担当部署 / 総務局経営企画室

岡山市北区柳町二丁目1番1号
TEL 086-803-7000
FAX 086-803-7027
E-mail t_ryoji@webtsc.com
https://www.webtsc.com



新ミッション「TSC魂(スピリット)で明日の地域に笑顔と元気を！」を追求



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

放送局としての社会的使命を果たすべく、番組やイベントなどを通じてSDGsの17目標すべての社会課題解決に向けた情報発信をこれまで以上に推進していきます。2021年度は、海ごみ問題について報道・情報番組内でのシリーズ企画や特別番組を制作しているほか、未来を担う子どもたちと一緒に身近なSDGsについて考えるミニ番組を放送しました。テレビせとうちは2021年5月国連がSDGs達成のために世界のメディアに参加を呼び掛けている「SDGメディア・コンパクト」に加盟いたしました。今回の加盟を機に、SDGsの理念が込められている当社新ミッション「TSC魂(スピリット)で明日の地域に笑顔と元気を！」(2021年4月策定)のもと、地域に寄り添い、ともに課題解決に取り組んでいます。

取組内容

平日夕方の報道・情報番組「ななスパ!!!」でSDGsの話題を随時取り上げており、毎週日曜日放送の経済番組「プライド」はSDGsの取り組みを行っている企業を取材し、放送しています。この2番組を軸に、テレビ東京系列の「経済」という強みを活かしながら社会課題解決に向けた情報発信を進めています。2021年度の新たな取り組みとして、6月から「ななスパ!!!」内で不定期のシリーズ企画「ストップ海ごみ 豊かな海を未来へ」を放送し、プラスチック肥料殻の問題(岡山市)などを取り上げました。これらの取材内容をまとめた番組を2022年3月に放送予定です。また、金曜夕方の「ななスパBIZ」では、「SDGsラボ」のコーナーを設けて地元の先進的な取り組みを紹介。携わる人たちの思いをレポートし、SDGsの17目標のいずれに当てはまるかなどを分かりやすく解説しています。

取組目標・目的

放送番組やイベントなどを通じて、「SDGメディア・コンパクト」の狙いでもあるSDGsに関する世論の喚起や活動をこれまで以上に推進し、報道機関としての社会的使命を果たしていく必要があると考えています。また、「誰一人取り残さない社会」実現のため、社員一人一人がSDGsの取り組みを自立的に考え率先的に行動することも目標とします。



総務局経営企画室 チームリーダー 料治 寿充

担当者からのコメント

「SDGメディア・コンパクト」への加盟をきっかけに、当社のSDGsの取り組みは加速してきています。上記のアイコンには最も当てはまるものとして2021年度の重点項目の14番を掲げておりますが、当社の情報発信や活動すべてがSDGsの各目標達成につながっていけばと思います。

株式会社 天満屋



企業概要

1829年西大寺で小間物屋として創業、呉服店を経て、1925年表町で形態を百貨店に変え、現在6店舗を営業しています。また百貨店事業に加えスポーツ施設運営事業、旅行事業、警備事業、人材サービス事業、ICT事業、建設・不動産事業など約20社で天満屋グループを形成しています。

問い合わせ先

担当部署 / 岡山本店総務チーム

岡山市北区表町二丁目1番1号
TEL 086-231-7490
E-mail kanami.mimura@tenmaya.co.jp
https://www.tenmaya.co.jp/

流通を通じて地域特産品、地域産業の持続的な成長を。



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

地域には優れた特産品があります。しかしながら販売ノウハウや販路がなく事業が発展しない、もっと知名度を上げたいなどの課題を持っている生産者や作家、事業者は少なく、特産品や事業が継承できないケースもあります。そういった課題を解決し、持続的な成長を促進することが、地域の活性化に繋がると考え、地域特産品の販売を積極的に行っています。

取組内容

岡山本店において岡山県内生産者によるこだわりの逸品を「岡山轟真」ブランドとして紹介する取り組みを2006年4月にスタートし、2015年4月に食料品を集積した「岡山轟真」の売場を、2017年3月には、ガラスや木工製品など食料品以外の売場を常設しました。また、中元・歳暮では当社オリジナル厳選ブランドとして、地元の特産品を開発し、食を通じて地域の生産者や販売者と共に全国へ地元の逸品をお届けする取り組みを行っています。加えて、催事などの店頭だけでなく、ECでも地域特産品を積極的に取り上げ、地域内外での販売促進に取り組んでいます。そして2020年11月に中国銀行、山陽新聞社など5社で「株式会社せとのわ」を設立し、生産者の方々の夢や課題に寄り添い、マーケティング戦略、企画開発、販路開拓を支援し、地域の活性化に取り組んでいます。

取組目標・目的

地域の方々から天満屋は流通を通じて地域の活性化に取り組んでいると認識してもらうことが目標です。そして消費者には、地域特産品の品揃えがどこよりも豊富で信頼できること、生産者、作家の方々には、販路拡大などの相談は天満屋が一番だと考えてもらえることを目指します。

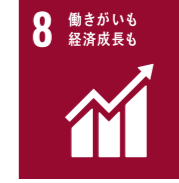


岡山本店総務チーム 課長 三村 佳奈美

担当者からのコメント

弊社は、創業以来変わらぬ経営理念「優良商品の販売を通じて、地域社会の生活・文化の向上に寄与する」のもと、地域活性化の実現に尽力してきました。この「地域のお客様の生活を豊かにする」という考え方はSDGsの理念や17の目標に通じています。これからも、支えられてきた地域への貢献活動を通じて、環境保全や社会課題への理解を深め、グループ全体で持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

株式会社 トマト銀行



企業概要

岡山県を中心に61店舗を展開する地方銀行。お客さまに徹底的に寄り添う「本業支援」「最適提案」活動の真価を発揮し、新型コロナの影響により変化する地域経済の産業の成長・発展に貢献することで持続的な成長を目指します。

問い合わせ先

担当部署 / 経営企画部

岡山市北区番町二丁目3番4号
TEL 086-800-1830
FAX 086-224-0207
https://www.tomatobank.co.jp

金融サービスの提供を通じてSDGsの達成に貢献



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

人口減少や地域経済の縮小は、地域とともに成長する地域金融機関にとっても大きな問題となっています。SDGsを活用して地域の経済・社会・環境にかかる諸問題の解決に取り組み、地域産業、経済の活性化に貢献することが、地域金融機関の使命であるとの認識から2020年4月にSDGs宣言を行いました。

取組内容

①地球環境の保全
②地域経済の活性化
③豊かな暮らしの実現
④ダイバーシティの推進
の4つを重点テーマに掲げており、学校・地方公共団体・スポーツチームなどに寄付をする私募債の取り扱い、国際医療支援にお役立ていただくためにAMDAに寄付をする定期預金、環境保全の一環として緑の募金に寄付をする定期預金などが代表的な取り組みです。

取組目標・目的

資金供給やコンサルティング機能等の金融サービスの提供を通じ、新たな事業の創造や事業の維持・拡大に貢献し、地域が自主的成長に向かう循環形成を目指しています。



経営企画部 部付部長 長汐 大輔

担当者からのコメント

SDGsの取組みは、地域への貢献に加え、企業の持続的成長と地域課題解決を同時に推進が可能と考えます。新たなビジネス機会の発見やリスク管理態勢の充実に結び付けることで、経営基盤の強化に活かすこともできます。今後の銀行経営での欠かすことのできない重要な取組みになると思います。

株式会社 トミヤコーポレーション



企業概要

輸入時計ブランドの販売、ジュエリー・貴金属の販売、金地金の販売、輸入雑貨の販売

問い合わせ先

岡山市北区表町二丁目2番83号
TEL 086-233-1038
FAX 086-232-1051
E-mail tomiya@tomiya.co.jp
https://www.tomiya.co.jp

表町商店街の活性化



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

表町商店街のシャッター通り化が徐々に進んでおり、商店街の繁栄を復活させる為。地域の方々が誇りをもって、また、表町商店街に活気を戻すことで、多くの方々が表町商店街に足を運んでもらうようにする為。

取組内容

まずは自らがいる表町商店街の清掃活動を定期的に行っています。人々が行ってみたいと思う場所が綺麗であることは最低条件かと思えます。そして、弊社が運営する各店舗では週替わり、月替わりで、新製品やブランドにクローズアップして、イベントやフェアを開催しています。時には、ルネスホール等の大型ホールを貸し切ったの展示会を開催し、時計や宝飾以外の商品(例えば車関係等)とコラボレーションして、ご来場いただくお客様楽しんで頂いております。

取組目標・目的

表町商店街に活気が戻り、大勢の人々が行き交う表町商店街に戻る事。



代表取締役社長 古市 聖一郎

担当者からのコメント

まずは自社のスタッフが誇りをもって表町商店街で仕事に励み、自社からの情報発信で人々に表町商店街に足を運んでもらうようにします。今後は自社だけでなく、同じ商店街の方々、地域の方々と力を合わせ、表町商店街に行けば楽しめるイベント等を企画していきたいと思えます。

株式会社 トンボ



企業概要

スクールウェア、スポーツウェア、介護・メディカルウェアなどの企画・製造・販売を行うユニフォームの総合メーカー。

問い合わせ先

担当部署 / 事業開発本部

岡山市北区厚生町二丁目2番9号
TEL 086-232-0368
FAX 086-225-6680
E-mail yousuke.makino@tombow-net.co.jp
https://www.tombow.gr.jp/

開発目標「人と自然を大切にしたい価値ある製品づくりを」 ～トンボはユニフォームを通じて、持続可能な社会を目指します～



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

CSR(企業の社会的責任)の考えのもと活動してきた社会貢献活動にとどまらず、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組むことにより、トンボの企業活動が与える影響を洗いだし、そして企業活動により社会の諸課題を解決できると考えたからです。

取組内容

- ・ジェンダーレス制服への取り組み
- ・東日本大震災復興支援トンボスマイルキャンペーン
- ・福祉施設へのボランティア活動
- ・奨学育英事業(「公益財団法人 八正会」「日本スコットランド交流協会トンボ学生服奨学金」)
- ・文化支援活動(「WE LOVE トンボ絵画コンクール」「トンボ1129デザインコンクール」「ピクトリースポーツ教室」)
- ・女性活躍推進活動
- ・カーボンオフセットへの取り組み
- ・残布提供
- ・エコ製品の開発及び販売促進
- ・水質環境に配慮した染色生地調達
- ・真庭トンボの森づくり活動 など

取組目標・目的

- 優先目標【12】つくる責任 つかう責任**
環境配慮型製品比率 2030年65%、2050年100%の目標(2020年現在は52%実績)
課題と対策 環境配慮型の物づくり推進
- ①原油使用量の削減
 - ②製品ライフサイクルの長寿命化
 - ③使い捨てプラスチック使用量の削減
 - ④水とエネルギー使用量の削減



マーケティング課長 横野 陽介

担当者からのコメント

そもそもユニフォーム自体が、いろいろな私服を買って消費し捨てることに比べるとエコそのものです。トンボのものづくりの基本は、不要なものをつくらない、捨てない、つまりムダを無くすことだと考えています。貴重な素材や限りあるエネルギーを使ってムダを作らないことにより世界を持続可能な社会にすること。それがトンボのSDGsです。

ナカシマプロペラ株式会社



企業概要

1926年、岡山市で中島鋳造所を創業、漁船用プロペラの製造を開始。一体型プロペラを中心にあらゆる船舶に最適化された各種推進装置の設計、製造、販売。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市東区上道北方688番地1
TEL 086-279-5111
FAX 086-279-3595
E-mail s-inagaki@nakashima.co.jp
<https://www.nakashima.co.jp/>

Vision2026「推進性能の最適化」



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

世界の物流の9割を船舶が担っていると言われていたが、環境負担及び燃費向上の改善が海運業界の課題です。その推進性能を最適化することで海洋環境・地球環境の改善・保全に寄与することが私たちナカシマプロペラの使命と捉え、創業から100周年を迎える2026年とその先を見据えた中期ビジョン作成をきっかけに課題に取り組むこととしました。

取組内容

メインの推進機器と省エネ付加物を一体とし、船全体を見据えた設計を行うことで【環境負荷低減への貢献】をします。また、船体設計への関与や性能維持のための予防的なメンテナンスなど、船のライフサイクルに即した価値の提供が可能です。加えて、就航後の船舶に対しモニタリングを行うことで最適なメンテナンスサービスを提供し【船舶の安全運航への貢献】をサポートするなど、長年培ってきた製造力と技術力を最大限に活用し、新しい技術やサービスの拡充を構築していくことで、燃費向上などによる運行する船舶のトータルコストを削減することができます。

取組目標・目的

プロペラを提供するものづくり企業から、20年を超える船のライフサイクルで「推進性能の最適化」を実現し、船舶の燃費改善や性能維持で環境負荷低減に寄与していくことを目指し、人の暮らしを豊かにすることで持続可能な社会を実現したいと考えています。



総務部 課長代理 稲垣 晋介

担当者からのコメント

私達の企業コンセプトは「最適創造カンパニー」です。人・社会・環境に最適な商品を創造し、人々と感動を共有するカンパニーを目指します。社会貢献を通じ仕事に誇りを持ち、より一層やりがいを持って仕事ができる職場になるよう努めていきたいと思っています。



西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社



企業概要

1987年4月1日設立。
本社は大阪市にあり、近畿圏をはじめ、北陸、中国地方、九州北部など2府16県に鉄道路線網を持っています。
鉄道をはじめとした運輸業、百貨店業などの流通業、不動産業、その他旅行業やホテル業などを展開しています。

問い合わせ先

担当部署 / 岡山支社 総務課

本社/大阪府大阪市北区芝田二丁目4番24号
岡山支社/岡山市北区駅前町二丁目1番7号
TEL 0570-00-2486
<https://www.westjr.co.jp/>

広域的な観光地づくりと 交流人口の拡大を目指した取り組み



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

西日本エリアの活性化による当社グループの長期持続的な成長を実現するためには、地域の皆様とともに、鉄道の広域ネットワークや安全で高品質な輸送サービスと当社グループが持つさまざまなコンテンツを活かした広域的な観光地づくりを行う必要があると考えています。
また、地域ビジネスの創造・育成を通じて、交流人口を拡大し、定住を促進する必要もあると考えています。

取組内容

- ・観光列車「La Malle de Bois(ラ・マル・ド・ボア)」の運行(宇野・尾道・琴平・日生の4方面)
- ・2022年に開催する大型観光キャンペーンに合わせた観光列車の運行(SAKU美SAKU楽)
- ・広域周遊の拠点と滞在施設の整備による魅力向上「SETOUCHI GLAMPING(せとうちグランピング)」
- ・交流人口の拡大および西日本エリアの活性化ワーケーションや多拠点居住の実証実験「住まいサブスク」の取組み(岡山市・倉敷市)

取組目標・目的

広域周遊ルートの構成と地域の産業や文化を活かしたコンテンツ整備により、訪れるたびに新たな魅力を発見できるような重層的なエリアを創出し、瀬戸内を多くのお客様が繰り返し訪れる一大周遊エリアにすることをめざしています。

担当者からのコメント

私たちは鉄道事業を核とした事業運営をしており、地域の皆さまなくしては存在しえないですし、地域の皆さまから厚い支援をいただきながら、瀬戸内の魅力発信に繋がる新たな取り組みに挑戦しています。これからも地域の皆さまとともにお客様に安全に安心してご利用いただけるサービスの提供に努めていきます。